

▶ 防災は日頃の備えから！ ▶ 知識を身に付け防災力をアップ！ ▶ お客様にもご案内しましょう

## 今月のテーマ

# 複数の安否確認手段を確保しましょう

**大** 規模災害の発生時は、電話がつながりにくくなるケースが多くあります。あらかじめ家族等と話し合い、安否確認手段を複数用意しましょう。また、自身のスマートフォン等が使えなくなることを想定して、SNSのID・パスワードや家族の電話番号を控えておくことも有効です。

### 災害用伝言ダイヤル「171」・各社安否確認サービス・SNSを活用

災害用伝言ダイヤル「171」は、被災者が安否メッセージを登録し、それ以外の人からメッセージを聞くものです。「WEB171」や携帯電話各社が提供する災害用伝言版・SNSも活用できます。

※使い方は、vol.12をご参照ください。



### 安否情報をまとめて検索「J-anpi」

「J-anpi」(<https://anpi.jp/top>)では、「電話番号」または「氏名」を入力することで、携帯各社が提供する災害用伝言板の安否情報に加え、各企業・団体が収集した安否情報もまとめて確認できます。

### 三角連絡法

大規模災害発生時、被災地⇄被災地、被災地外→被災地への電話は繋がりにくくなりますが、被災地→被災地外への電話は比較的繋がりがりやすいので、遠方の親戚・知人などをポイントにして家族で情報を共有しましょう。

### 安否メモを残す

避難する際に外出中の家族がいれば、ドアなどに避難先などを書いたメモを残します。防犯のため、鍵は締めます。

